

福島高校の高校生 1名（福島高校SS部）

福島県立福島高校は、文部科学省による「SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）」に指定され、物理、生物、化学などの自然科学分野での先進的な教育に取り組んできた。その中で、生徒が自主的に活動するのがSS部だが、原発事故後、福島状況を正確に捉えるため「放射線班」が発足した。国内外12地域、216名の協力を得た福島内部と外部の個人線量の比較研究は英学術論文誌に掲載され、海外国際会議での発表、外国人特派員協会での会見なども行ってきた。その後は、避難指示解除地域の状況や1F廃炉の研究を進め、昨年11月には高校生としてはじめてオンサイトの視察を行った。